

平成25年度 南魚沼郡市総合部 活動報告

部長 小島 敏行

1 研究主題

南魚沼郡市の素材を活かした総合的な学習の時間の工夫（3年目）

2 研究の概要

研究主題達成のために、以下の取り組みを行う。

- (1) 南魚沼市学習指導センターの研修講座や共催研修会に参加する。
- (2) 研究部員が校内研修等で「総合的な学習」の研究授業を行う場合には、支障がなければ他校の研究部員に案内を出して、可能な限り参加しあう。

3 研究の実際

- (1) 平成25年度 南魚沼市学習指導センター研修講座 4月25日（木）

テーマ：総合学習～われら南魚総合探検隊

内容：総合学習の素材やテーマをいかにして見つけるか。

タイトルにこだわり展開する。

調べ学習・分析法・まとめ方のスキルを高める。

実践可能なテーマの見つけ方。

総合学習の文字に現れない目的

- (2) 郡市小学校新教育課程研究集会 8月20日（火）

○県新教育課程研究集会の伝達講習（指導者 県教育課程研究集会参加者3名）

※生活科も含める

- ・新学習指導要領の着実な実施：気付きの質を高める体験活動と表現活動
体験活動の充実・表現活動の充実

- ・適切な学習評価：評価の焦点化・重点化

○総合学習で探求的な学習を生かすポイント（指導資料の抜粋）

- ・探求的なプロセスを重要視する

（意識する・他者と協同的に学ぶ・体験活動や言語活動の位置づけ・各教科との関連）

- ・思考ツールの活用

- ・授業改善のポイントは「イメージ力」・・・重要

- (3) 部会研修 1月15日（水）

○他市での総合の優れた実践を講師から発表してもらい、質疑を通して研修を深めた。

- ・取組の例として、①対象とかかわる時間や機会を保障する。②書く活動を継続する。③葛藤を生む場面をつくる。が、紹介され、指導者の確固たる総合の授業に対する熱意が伝わってきた。

- ・自主的な活動をする子どもと、教師のねらう子ども像のための教師の登場場面の設定など細かな配慮がある指導は参考になった。

4 成果と課題

本年度は、昨年の反省を基に、異動してきた教職員に地域の総合の題材を早く紹介し、スタートを切ってほしいとの願いから、4月中に研修会を開催した。具体的な事例の紹介や総合の進め方などを研修し、活動の参考になった。

伝達講習では、国・県レベルの総合のあり方や方向が示され、参加者の不安が払拭できた。

部会研修では、実際の総合の授業の全体が示され、素晴らしい取組の一端が分かった。地域に当たり前にある事象をいかに子どもたちに関心を持たせるか。そのためには、教師の総合に対する全体的なイメージ、子どもをどのようにさせたのかを明確に持つことが大切であることが確認された。また、ある発信のあり方や、学年を貫く総合の全体テーマも問題となった。